

# 暮らし

# バリアフリー 化の促進

## 7 バリアフリー化率／H19 目標 : 36.1%

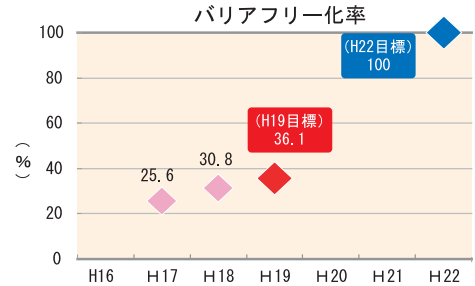
H17 実績	H18 実績	H19 目標	H22 目標 (全て年度末)
25.6 (%)	30.8 (%) (H18目標:31.6%)	36.1 (%)	100 (%)
<small>バリアフリー基本構想による事業計画達成率 (全169.4km)</small>			

### 達成度報告

○平成18年度は、8.9kmの区間がバリアフリー化され、千葉県全体のバリアフリー化率は30.8%になりました。しかし、平成18年度の目標に0.8%届きませんでした。

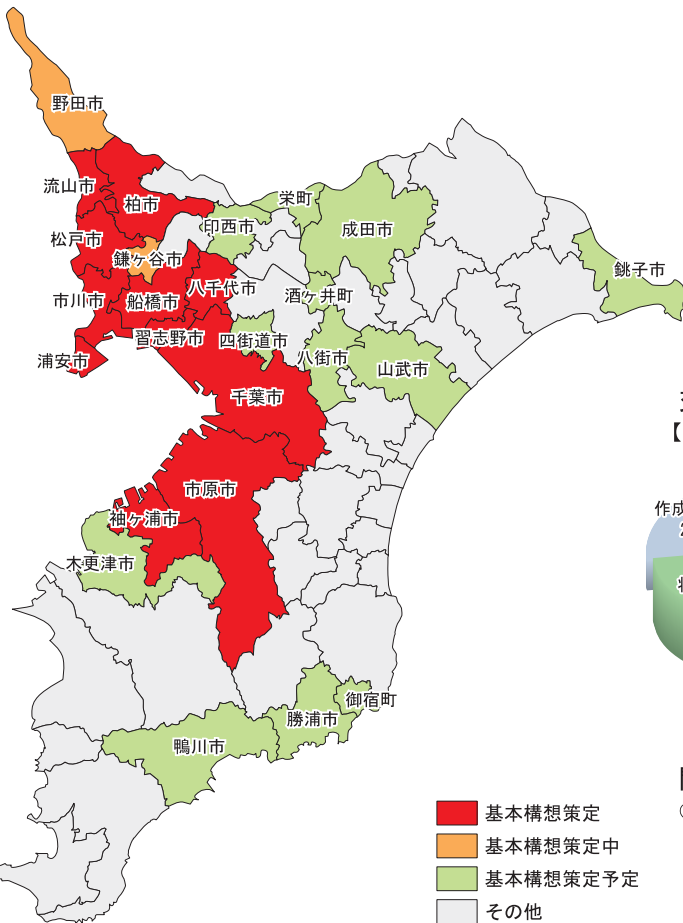
### 業績計画

○平成19年度は、8.8kmの整備を推進し、バリアフリー化率36.1%の達成を目指します。

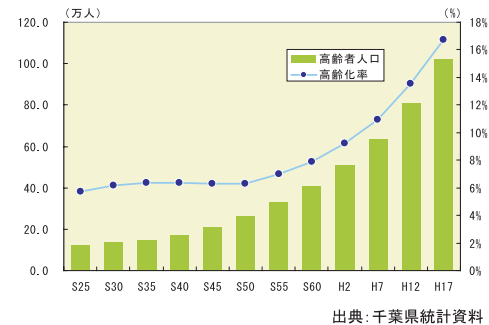


### 現状と課題

- 我が国は、高齢社会を迎えようとしています。千葉県においても、住民の急激な高齢化が進んでおり、スムーズな移動環境の整備が重要な課題となっています。
- 「交通バリアフリー法」に基づき、5千人/日以上の利用者がある鉄道駅周辺の道路等においてバリアフリー化を進めています。
- 千葉県のバリアフリー化率は、関東地方整備局管内の1都8県中で7位と下位にあります。
- 「交通バリアフリー基本構想」を策定している市町村(策定中を含む)は約4割弱ありますが、将来作成予定がない市町村も全体の3割を超えています。



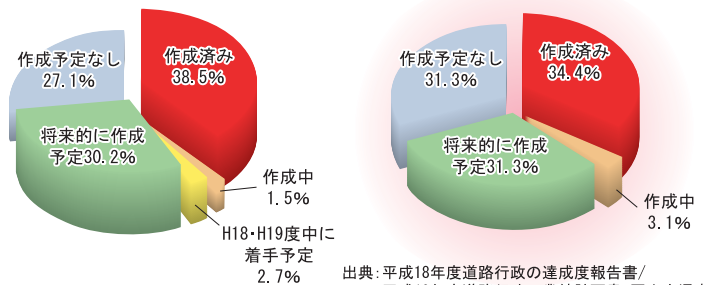
千葉県「高年齢人口および高齢化率」の推移



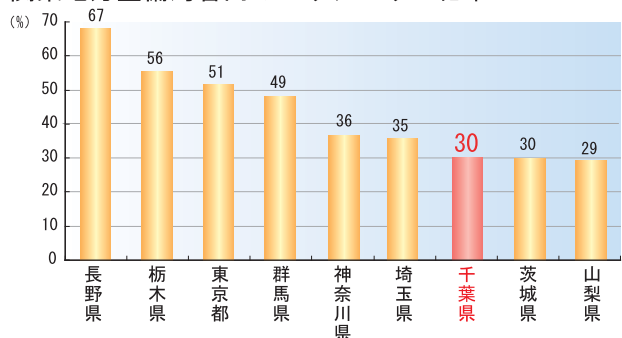
### 交通バリアフリー基本構想策定状況

【全国】(総数:524市町村)

【千葉県】(総数:32市町村)



### 関東地方整備局管内のバリアフリー化率



出典:平成18年度道路行政の達成度報告書/平成19年度道路行政の業績計画書、国土交通省

「交通バリアフリー法」対応状況  
※平成19年2月末現在(市町村区分も同様)

出典:千葉県総合企画部交通計画課ホームページ

平成18年度  
の評価

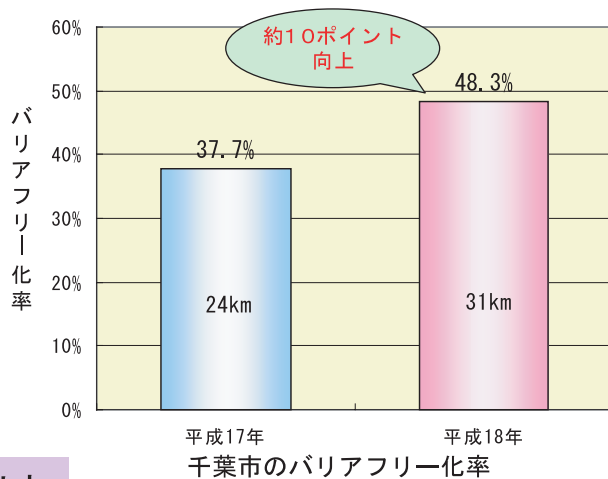
## 千葉県のバリアフリー化率は30.8%に向上

- 県内の市町村が策定した「交通バリアフリー基本構想」などにおけるバリアフリー化計画延長は169.4kmです。(平成18年度末現在)
- 平成18年度に整備された8.9kmを含め千葉県全体のバリアフリー化延長は52.3kmに達し、バリアフリー化率は30.8%になりました。

代表的な事業  
高齢化社会における環境整備  
道路特定事業

### 千葉市

- 千葉市では、誰もが公共交通機関を利用し、安全、快適に目的地に移動することができるよう、道路等のバリアフリー化を進めています。その具体的な事業内容を示したものが「道路特定事業計画」です。
- 平成18年度は、千葉都心地区等で合計6.8kmの整備が完了しました。
- 平成19年度は、5.0kmのバリアフリー化整備を行う予定です。



バリアフリー化された歩道(磯辺畑町線:千葉市美浜区)

### 市川市

- 市川市では、平成18年度は行徳駅周辺の特定期路においてバリアフリー化事業を完了しました。
- これにより、整備済み延長は1.2km、バリアフリー化率20.3%になりました。



バリアフリー化された歩道(平成18年度:行徳駅特定経路)

平成19年度  
の計画

## 平成19年度、バリアフリー化率36.1%を目指す

- 平成19年度は、約9kmの整備を進めバリアフリー化率36.1%を目指します。また、平成22年度末までに100%達成を目指します。

# 暮らし

# 無電柱化の促進

## 8 無電柱化率 / H19 目標 : 71%

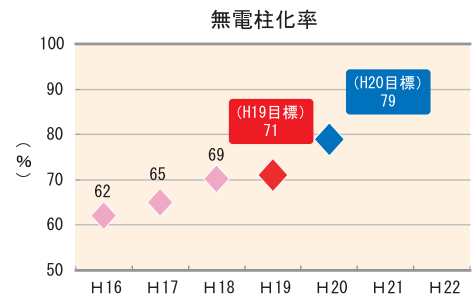


### 達成度報告

○平成18年度は、21.6kmの無電柱化を進めました。  
○これにより、無電柱化率は平成17年度から4%増の69%に達し、目標を達成しました。

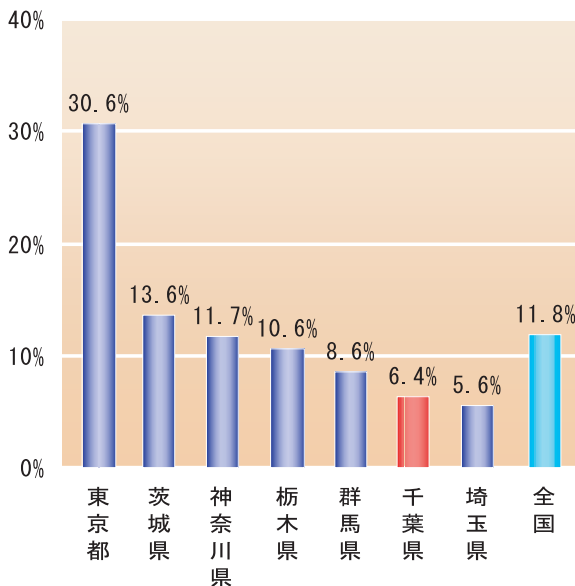
### 業績計画

○平成16年に策定された「無電柱化推進計画」による新規分226kmを含んだ557kmの道路の無電柱化に取り組みます。  
○平成20年度末までに、計画延長(557km)の79%達成を目指します。

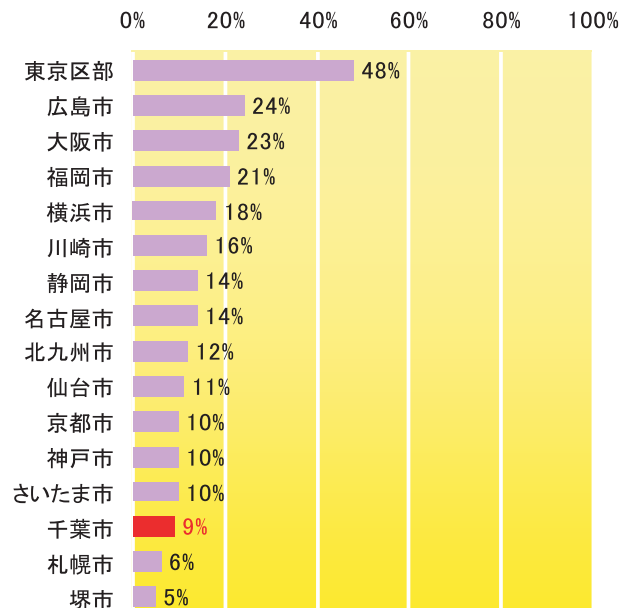


### 現状と課題

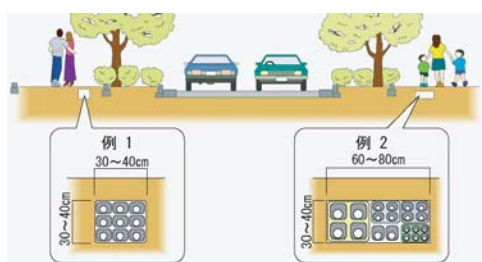
○無電柱化は、「交通や施設のメンテナンスの効率化」「バリアフリーの歩行空間を形成」「美しい景観を創造」「災害に強いまちづくり」など様々な分野に寄与します。  
○千葉県及び千葉市の幹線道路(国道・県道)における電線類の地中化率は、他の県・政令都市に比べ低位にあります。  
○浅層埋設方式は、従来工法に比べて約2割のコスト削減が図れるため、千葉県においても積極的な導入が望まれています。



関東各都県の幹線道路における電線類の地中化率  
出典: 平成18年度道路行政の達成度報告書/平成19年度道路行政の業績計画書、国土交通省

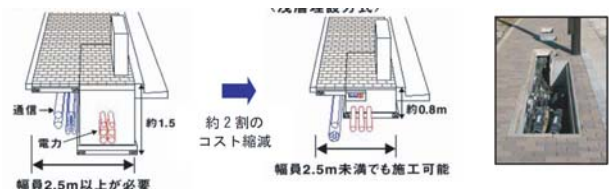


政令都市等の幹線道路における電線類の地中化率  
政令都市等: 国土交通省調査H18年度末(幹線道路)  
出典: 平成18年度道路行政の達成度報告書/平成19年度道路行政の業績計画書、国土交通省



無電柱化のイメージ

### 浅層埋設方式によるコスト削減イメージ



出典: 平成17年度道路行政の達成度報告書/平成18年度道路行政の業績計画書、国土交通省

平成18年度  
の評価

無電柱化率は4%増加し、目標を達成

- 平成18年度は、国道6号柏市南柏、国道16号柏市中十余二などにおいて21.6kmの無電柱化を進めました。
- 無電柱化率は、平成17年度から4%増の69%になり、目標を達成しました。


代表的な事業  
無電柱化により都市景観、防災性を向上  
無電柱化推進計画

- 安全で快適な通行空間の確保、都市災害の防止、都市景観の向上及び情報通信ネットワークの信頼性の向上などを目指して、無電柱化を推進しています。
- 情報化社会の進展とともに情報通信ネットワークが広がり、その重要性は高まる一方です。無電柱化により電線類が地中化され地震などの災害時に情報通信回線の被害を軽減し、ネットワークの安全性・信頼性を向上させます。
- 平成18年度は、国道6号柏市南柏、国道16号柏市中十余二などにおいて計21.6kmの無電柱化が完了し、快適な道路空間を創出しました。

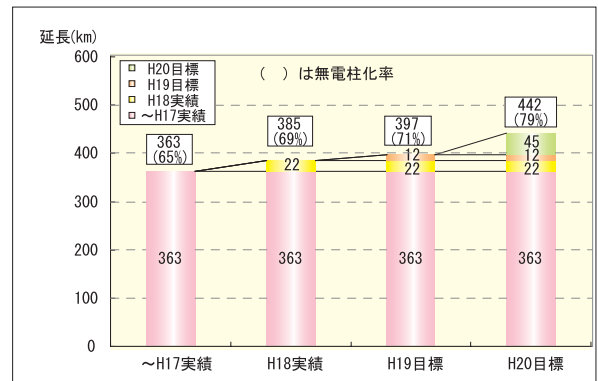
【阪神淡路大震災時の神戸地区ケーブル被災状況】

	被災率	被災延長 総延長
架空線	2.4%	1.0 41.5
地中化	0.03%	0.007 24.0

(注)被災率はケーブル総延長に対する被災延長の割合  
(単位: 100km)



阪神・淡路大震災で倒壊した電柱  
出典：国土交通省道路局ホームページ「無電柱化の推進」



千葉県における無電柱化延長

整備前



整備後



無電柱化された街並み (国道14号 千葉市中央区富士見)

平成19年度  
の計画

平成19年度、無電柱化率71%を目指す

- 総延長557km(内385kmは完了済)の無電柱化に取り組みます。
- 平成19年度は、引き続き約12kmの無電柱化を進め、無電柱化率71%を目指します。
- さらに、平成20年度末までに約45kmの無電柱化を進め、無電柱化率79%を目指します。